

# 「6度目の3.11」 今一度、防災減災に向けた対応を

まもなく東日本大震災から6年となる。ほんの少し前のことのようにだが、気づけば長い時間が経過した。

毎年の3月11日前後を除けば、被災地の状況はメディアで扱われることも少なくなってきたが、今も12万7千人の方々が避難生活を送っていることを忘れてはなるまい。

連合総研が実施している勤労者短観では、東日本大震災発生後、2011年10月、2012年4月、2015年10月の3回にわたって「あなたが属する人間関係や団体を自分にとって大切と感じているかどうか」、「震災以降の行動変化」「震災以降の勤務先・職場における取り組み」等々について、勤労者の意識と行動の変化について調査を行っている。

その調査結果をふまえ、6度目となる3月11日を前に、今一度、東日本大震災を体験したことで勤労者の意識にどのような変化が生じたのかをみてみたい。

「自分が属する人間関係・団体を大切に感じるかどうか」では、震災発生7か月後の調査では、どの人間関係・団体についても、震災前より震災直後の方が「大切に感じている」とする割合が高い。特に「地域(地縁関係・町会・自治会・学校区等)のつながり」、「日本社会」、「住んでいる地域の自治体」などは極めて高く、社会的なつながりに関する意識の高まりが顕著であったことがわかる。一方、震災発生後約4年を経過した調査では、いずれも「大切に感じている」の割合が減少した。

もっとも震災7か月後の調査において「大切に感じている」の割合が震災後で大きく高まった「地域のつながり」、「住んでいる地域の自治体」、「日本社会」については、4年後調査時点でも震災前の割合よりも高い水準を維持していた。震災発生から約4年を経過する中で、被災によって高まった人間関係に関する意識の風化が進んでいることは否めないと思われる。一方、地域、自治体、社会といった社会的なつながりの必要性については、震災後数年を経過した今日においても一定程度に浸透しているといえるだろう。健全な社会を維持していくためにも、極めて重要なテーマだ。各主体における継続した啓発行動等が期待される。

「震災後行ったことはあるが今は行っていない行動」をみてみると、「募金やボランティア活動」が最も多かった。震災後7か月時点の調査では、「募金・ボランティア活動」は、半数近くの回答者が実施していたものの、4年後では約5%まで減少した。これは募金活動やボランティア活動が一定程度収束してきているための結

果といえるだろう。一方で現在でもボランティア活動や毎年の定期大会を被災地で継続して実施している労働組合もある。まだまだ復興は途上にあり、こうした地道な努力は重要だ。

一方、残念なことに避難生活者に対する不当な対応が報道されている。風評被害の状況について「原発周辺製品の買い控え」をみると、6割近くが「震災後行っていない」としていた。多くは風評に惑わされていないと思われるが、4年後調査でも約1割の回答者が買い控えを継続している。風評被害は依然として解消されていない。今後も継続した取り組みが必要だ。

東日本大震災を契機として、「勤め先・職場において、地震や電力不足などに対応するため、どのような取り組みが行われたか」、「また現在はどのようになっているか」についてみてみた。すると職場における対応のうち、「実施していない」と「震災後新たな対応や既存の対応の強化・見直しが行われたが、現在はやめてしまった」の二つをあわせると「震災を想定した避難訓練」、「オフィス備品の転倒・落下防止等の措置」等が4割超で実施されていなかった。

また、「震災時の業務継続のための計画策定」、「節電のための省エネ製品の購入」、「緊急時の連絡体制の整備」、「防災用品の備蓄」についても4割近くで実施されていない。けっして低くない割合で勤労者の生命や安全を確保するための対応がなされていない職場が存在している。震災の教訓を糧に防災減災に向けた強い取り組みが必要だろう。

防災に関して、震災以後の職場における取り組みのうち「今後より重要になると思うもの」をみると、「緊急時の連絡体制の整備」、「防災用品の備蓄」が3割超。「震災を想定した避難訓練」、「オフィス備品の転倒・落下防止等の措置」が2割超となっていた。

「勤労者が考える今後より重要になるとの回答」と「現在職場で行われていない対応に関する回答」から考察すれば「緊急時の連絡体制の整備」、「防災用品の備蓄」、「震災を想定した避難訓練」、「オフィス備品の転倒・落下防止等の措置」などは、防災対応を万全なものとするとともに、勤労者の不安を解消するためにも積極的かつ早急に取り組むべき課題といえる。

「6度目の3.11」が来る。今一度、家庭や職場における防災減災に向けた備えを確認しなければなるまい。

(杉山豊治 主任研究員)